

平成 21 年度 ExTEND2005 基盤的研究、野生生物の生物学的知見研究及び
平成 20 年度採択フイージビリティースタディー研究課題一覧

(敬称略)

区分 番号	代表研究者	所属	研究課題名
基盤的研究			
基盤 1	青山 博昭	残留農薬研究所	哺乳類を用いた毒性実験の結果に影響を及ぼす 実験動物の遺伝的要因解析
基盤 2	中西 剛	岐阜薬科大学	胎児期におけるエストロゲンシグナルの gain of function の影響
基盤 3	太田 茂	広島大学	胎仔期、新生仔期の代謝機能と内分泌かく乱作 用発現
基盤 4	鯉淵 典之	群馬大学	核内ホルモン受容体による転写調節における環 境化学物質の作用機構
基盤 5	岩田 久人	愛媛大学	野生生物のリスク評価を目指した核内受容体リ ガンドの網羅的解析法の開発
基盤 6	長濱 嘉孝	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	メダカの生殖内分泌系に及ぼす化学物質の内分 泌かく乱作用の作用メカニズムに関する研究
野生生物の生物学的知見研究			
野生 1	濱口 哲	新潟大学	野生メダカの性分化異常に関わる基礎的情報の 収集と解析
野生 2	上田 哲行	石川県立大学	アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明
野生 3	白岩 善博	筑波大学	シャジクモ類の衰退要因解明に向けた環境負荷 化学物質の影響に関する生理・生態学的研究
平成 20 年度採択フイージビリティースタディー (FS)			
20FS 1	千葉 啓子	岩手県立大学	魚食性猛禽類「ミサゴ」の生態とその食物連鎖 に関する基礎的研究
20FS 2	大迫誠一郎	東京大学	化学物質誘発性のエピジェネティック修飾によ る DOHaD モデルの検証
20FS 3	有菌 幸司	熊本県立大学	メダカの再生産に及ぼす化学物質及びその代謝 物の影響とトキシコゲノミクスによる作用機序 の解明
20FS 4	安住 薫	北海道大学	海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス基 盤研究と生態調査
20FS 5	早川 和一	金沢大学	多環芳香族炭化水素類の内分泌かく乱作用の構 造活性相関に基づく魚鱗の化学物質スクリーニ ング法に関する研究